



日本十進分類

0類 総記	1類 哲学	2類 歴史	3類 社会科学	4類 自然科学
5類 技術,工学	6類 産業	7類 芸術,美術	8類 言語	9類 文学

210、366、596、…図書館の本のラベルに書かれた数字の意味を、君は知っているだろうか!?実はこれ、本の内容を表しているのだ。

図書館の本は「**日本十進分類法**」という法則に基づいて、分類し、番号を付け、棚に並べられている。まず大きく10種類に分け、さらにそれを10種類に分け…あらゆる本が細かく分類されていく。

この表をみてほしい。この表は、ラベルに書かれた最初の一けた目を表している。例えば、歴史関係の本を見ただけで、一けた目が「2」のラベルの本を見れば、一けた目だけでもわかれば、本を探すのがずいぶん楽になるはずだ。

図書館にはありとあらゆる分野の本があり、そのすべてがきちんと分類されている。

つまり、「**図書館は世界を分類している**」のである!

今回は、「日本十進分類法」の基礎の基礎、一けた目をお教えしよう。

0類 総記



「0」は総記。図書館、百科事典、新聞などの**総合的な内容の本**をあらわす。ブックガイドもこの番号なので、読む本に困ったらこの場所を探してみよう。

『THE BOOKS green 365人の本屋さんが中高生に心から推す「この一冊」』
ミシマ社/編 ミシマ社 Y019

「本を読みたいけど、何を読んだらいいかわからない…」そんな時は人のオススメの本を読むのが一番。全国の本屋さんが、手書きのメッセージと共に熱い思いで、中高生向きの本を紹介しているブックガイド。カレンダー形式で紹介されているので、この本があれば一年中読む本に困りません。(担当1)

1類 哲学



「1」は哲学や宗教、倫理の本、つまり「**どう生きるか**」というヒントになる本が集まっている。今回は「159」の人生訓というジャンルの本を紹介しよう。

『大人になるっておもしろい?』
清水真砂子/著 岩波書店 Y159

家族、友達、将来のこと…10代~20代は輝かしい時期だけど、悩みも多い時期かもしれない。そんな若者に向けて、児童文学者が易しい言葉で語りかける。ケンカしたっていい。ひとりであることは大事なこと…。

人生って意外と悪くない、と思えてくる本。悩んだときに読んでほしい文学がたくさん紹介されているのも嬉しい。(担当0)

2類 歴史



「2」は**歴史、伝記、地理**の本をまとめている。「209」の世界史の本と「290」の地理の本の2冊を見てみよう。

『1493入門世界史』
コロンブスからはじまる**グローバル社会**』
チャールズ・C.マン/著 レベッカ・ステフォフ/編著
鳥見真生/訳 あすなろ書房 Y209

「グローバル社会」という言葉をよく耳にすると思う。世界中が互いに影響しあっているということだ。実はこのグローバル社会は1493年、コロンブスがアメリカ大陸に到達したときに始まった!

貿易の開始により、銀、ジャガイモ、人間、疫病まで、ありとあらゆるものが海を渡り、世界の歴史が大きく変わっていく。ヒトやモノの流れから歴史を読み解くダイナミックな世界史入門書。(担当0)



『スマイル!』
笑顔と出会った自転車地球一周 157カ国、
155,502km!』
小口良平/著 河出書房新社 Y 290

「自転車地球一周旅」という夢をもった著者は、コツコツお金をためることから始めた。やがて自転車走破距離と訪問国数、日本歴代1位という偉大な記録をつくった。

道中は、命に関わる暑さ寒さ、交通事故、強盗など、多くのトラブルに見舞われた。そんな中、笑顔を絶やさず、文化の違う人々・世界各地の絶景に出会っていく。世界中を自分の目で見たいという人は、この本を読み、世界を実感してみよう。(担当1)

3類 社会科学

「3」は政治や経済、統計や教育など、**社会のしくみ**に関する内容の本がまとめられている。その中から、「337」は経済の貨幣・通貨、「367」は家族問題の本を紹介しよう。



『いくらかな？社会がみえるねだんのはなし 1 自然と生きもののねだん』
新美景子／著 大月書店 Y337

【動物園にいるキリン1頭の値段は、4000万円。ライオンは45万円。なぜ、こんなにもねだんに違いがでるのでしょうか。】

普段の身の回りのモノやサービスの値段に対して、多くの人が、「高い、安い」と意識しているのではないのでしょうか。でも、なぜ、その値段になっているのかを考えたことはありますか。値段を通して社会を見ていきます。短いのですが読めますよ。

他にも、スポーツや教育の値段など、シリーズであるので、他の本も手に取ってみよう。(担当T)



『お父さんがキモい理由を説明するね』
中山順司／著 泰文堂 Y367

題名にドキリ。
著者は、中学生の娘に「とにかくキモい」と言われて凹むお父さん。本書は、そんな父親が、なんとか娘との距離を縮めるべく、毎週土曜日に話した内容が会話(マジトークと命名)形式で進む。その話題とは、恋愛から生き方まで。著者は、世のお父さんのために書いたが、中高生のみなさん性別関係なく、娘さんの発言に「わかる!」と読み進められるでしょう。親の気持ちもちょっと垣間見られ、やさしくなれるかも……。 (担当T)

4類 自然科学

「4」は**自然の成り立ちや在り方**などを考え、説明している自然科学に関する本が集められている。天文学や医学・薬学もここ。今回は、「410」の数学、「471」の一般植物学を紹介しよう。



『ハッピーになれる算数』『生き抜くための数学入門』
新井紀子／著 理論社 Y410

算数・数学を学ぶ意味が示されています。例えば、みなさんは「円周率は？」の問いには、約3.14と答えられますよね。では、「円周率とは？」の問いに答えられるでしょうか。

筆者は、これからの社会に必要なのは「と」と「なぜ」と考える力であると述べています。数学を学ぶことで、社会でよりよく生きていくための力(考え方や論じ方等)を身につけることができるとのこと。これまでの算数・数学へのイメージが変わります!自分のレベルに合わせてどうぞ! (担当T)

『植物はなぜ動かないのか 弱くて強い植物のはなし』
稲垣栄洋／著 筑摩書房 Y471



普段身の回りで見える植物は、動物と同じように厳しい生存競争を生き抜いて、存在している。例えば、他の動物に食べられたり、踏まれたりすることを利用して種子を運ぶ雑草や、あえて雨の少ない砂漠や乾燥地に生えるサボテンなど……。

そこには、自然界を生き延びるための数々のドラマがある。一見弱く見える植物の知恵は、これから学校や社会を生きていくのに役立つと思うので、是非読んでみてください。読んだら、植物を見る目が変わると思います。(担当I)



5類 技術,工学

6類 産業

7類 芸術,美術

8類 言語

9類 文学



次号は、5～9類の本の紹介をします。お楽しみに!

編集後記

わたしの好きな分類番号は…933と488と764。英米文学と鳥とロックンロール!分類がわかると、迷路のようだった図書館に道が生まれます。まずは好きな分類から覚えよう。(担当O)

図書館の本の背ラベルは本の住所みたいなもので、これにより整理がされています。自分の部屋も「物の住所」をきちんと決めることを意識すれば、部屋が片付くかもしれません。(担当I)

大人が言う「いろいろな本を読みなさい」って、この分類。でも、大人の私も手に取る本は偏っていて…今回、苦手な数学分野に挑戦したよ!さあ、君たちも挑戦してみたらどう?(担当T)